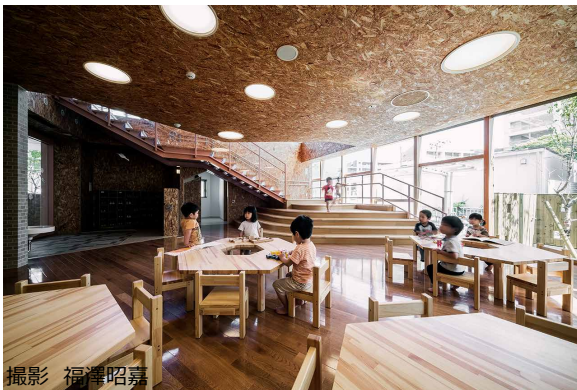




## RC 造の型枠と内装仕上げを兼ねる、OSB の新たな使い方



撮影 福澤昭嘉



撮影 福澤昭嘉

## わくわく保育園

所在地：兵庫県尼崎市  
 建築面積：465.33m<sup>2</sup>  
 延べ床面積：829.59m<sup>2</sup>  
 階数：地上 2 階  
 構造：RC 造  
 意匠設計・構造設計：  
 CASE まちづくり研究所



松富謙一氏

カナダ産 OSB の内装仕上げ材としての魅力を最大限に引き出した事例が増えてきた。CASE まちづくり研究所の建築家・松富謙一氏は、コンクリート型枠と内装仕上げを兼ねた画期的な OSB の使い方、工期短縮やコスト削減という現実的な課題を解決しつつ、保育園らしい温かみのある空間を創り出した。

## 打込み工法で仕上げの手間を省く

わくわく保育園は、兵庫県尼崎市が保育所の運営を民間移管した事例のひとつで、松富氏が周辺のまちづくりを以前から手伝ってきた経緯があり、準備段階から運営する社会福祉法人と共に検討を重ねてきた。「子供のための施設なので、柔らかい雰囲気空間が求められました。それには木の材質感があつたほうがよく、コストを抑えながら、内装材としても躯体としても使える材料を探しました」(松富氏)。

木造を求める声も挙がったが、市の基準の関係で難しかった。躯体に使える木質系の材料を検討していく過程で OSB が浮上。カナダ産 OSB をせき板の内側に取り付けてコンクリート型枠の一部として使い、脱型後はそのまま残して内装材として利用する打込み工法にたどり着いた。これにより、躯体完成後の表面の仕上げの手間が省けるなど、工程の大幅な省略が実現できた。



撮影 福澤昭嘉



撮影 福澤昭嘉

## 温かい雰囲気のカナダ産 OSB

地域との関わりは同保育園の大きな特徴で、地域住民も含めて多目的に利用できるスペースの設置がその象徴になる。カナダ産 OSB をふんだんに使った空間がその役割を担っている(写真上中央)。建物全体では、RC 造の躯体以外の間仕切りや家具などにも OSB を使用し、統一感を持たせた。カナダ産 OSB は特に使用している接着剤の種類から暖色系の色合いとなるため「温かい雰囲気を出すために使われます」と松富氏は話す。型枠と内装を兼ねたカナダ産 OSB をガラス張りの外側からも見ることができ、室内だけでなく外観も木質感あふれる温かみのある建物(写真右上)となった。

## 不快な反響を抑える吸音効果

OSB を内装に利用する理由の一つには、吸音効果もあったという。OSB は表面に凹凸がある木質材料なので、適度に音を吸収して不快な高周波の音や残響を抑えられる。神戸市内の保育施設でも、天井が高い空間の天井仕上げ材として OSB を採用した。「容積が大きく音の反響性がある空間に、吸音性が高い OSB を吸音ボードに替えて提案しました」と松富氏は話す。

## ボックスビームの可能性

スパンを飛ばすために使われる長尺の大断面集成材や LVL は、高価なのが悩み。その代替材として、OSB や製材など一般的な材料を組み合わせた箱型の梁材・ボックスビームの研究が進んでいて、採用を検討中。構造と意匠両方の可能性を広げる技術だ。



## CASE まちづくり研究所

大阪府大阪市東淀川区西淡路 1-3-26 401  
 Tel 06-6325-2299  
 E-mail: case@case-jp.com  
 HP: www.case-jp.com